

# 小田原『寄気』プロジェクト ～おだわら森里川海エコツーリズム展開に 向けた可能性調査～

2017/12/5

文教大学国際学部国際観光学科 海津ゼミナール

渡辺美緒 宮島朋花  
小島陽香 小倉琴美

# 目次

1. 調査主旨
2. 調査目的
3. 調査手法 【 研究1. (平成29年度)1-1～1-3】
4. 実績
5. 調査結果
6. 考察
7. 課題点
8. 今後計画



# 1.調査主旨

## 目標

- 小田原市に森里川海十町資源(宝)を活用したエコツーリズムの展開に向けた調査と可能性の検討を行う。

## コンセプト

- エコツアーによる「内」と「外」の連携
- エコツーリズム開発を通し、小田原の多様な「人」と「資源」を掘り起こし、活かす
- 環境への気づきと保全十経済循環十地域社会の継承と還元

## 2.調査目的

1. 森里川海（十町）の資源性の把握
2. エコツアーによる新たなビジネスモデルの提案
3. 交流を通じた小田原市への経済的・社会的還元の検討

👉 これらに関する基礎調査と可能性の把握

# 3.調査手法

## A.ヒアリング調査

堀池衡太郎氏（NPO法人小田原ガイド協会）、  
高村完二氏・朝尾直也氏（小田原観光協会 DMO）、辻村百樹氏（辻村農園山林）、  
渡辺剛治氏（清閑亭）、志村成則氏（志村屋米穀店）、古川剛士氏（小田原商工  
会議所）、石井智子氏（あしがら農の会）

## B.現地調査

辻村農園山林、清閑亭、小田原城、街かど博物館、mame元café、  
Chocolat du Panda、Nico café

## C.資料収集

小田原市観光協会、小田原市役所、各施設などにてパンフレット等を約40点収集

# 4.実績

月日	調査手法	対象
2017/08/21(月) 10:00~11:00	ヒアリング	堀池衡太郎氏 (NPO法人小田原ガイド協会)
11:00~12:00		高村完二氏・朝尾直也氏 (小田原観光協会 DMO)
2017/09/29(金) 9:00~11:30	ヒアリング・現地調査	辻村百樹氏 (辻村農園山林)
13:00~	ヒアリング・現地調査	渡辺剛治氏 (清閑亭)
<del>2017/10/24(火)</del> 2017/10/24(火) 9:00~11:00	ヒアリング	志村成則氏 (志村屋米穀店)
2017/11/07(火) 9:00~10:00	ヒアリング	古川剛士氏 (小田原商工会議所)
10:00~11:00		石井智子氏 (あしがら農の会)
13:00~15:00	現地調査	小田原城
2017/11/17(金) 12:00~15:30	現地調査	カフェ巡り 街かど博物館(小田原駅周辺)

# A.ヒアリング調査結果

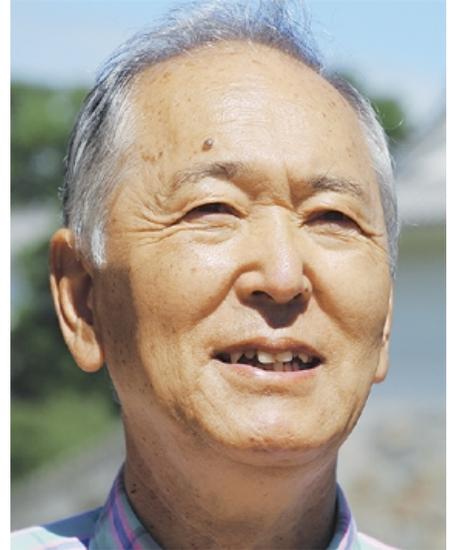
# 主なヒアリング内容

1. 組織の概要
2. 年間の活動内容、場所、活用資源等
3. 伝えていきたい小田原の資源（宝）、魅力
4. 小田原森里川海エコツアーリズムの推進に関してできること
5. その他、現場を案内していただけるかどうかなど

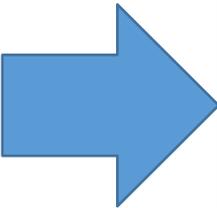
## 1. 堀池衡太郎氏（NPO法人小田原ガイド協会会長）

小田原城内に限らず、小田原市内で様々なツアーを計画・実施をしている。ガイド育成も行っている。

- ・ガイド数92名
- ・2回/年のガイドチェック
- ・34コマ/年のガイド養成講座を受けなければならない
- ・小田原の古民家、和留沢の石などあまり知られていない資源がある
- ・学術的では面白くない



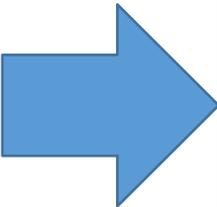
<http://www.townnews.co.jp/0607/2016/09/03/347124.html>

- 
- ・ ツアーづくりの際に的確なアドバイスがもらえるのではないか
  - ・ 新しい資源を使った若者にも興味を持ってもらえるようなエコツアーの提案

## 2.高村完二氏・朝尾直也氏（小田原市観光協会DMO）

市内の観光関連業者と推進懇話会を開催し合意形成を行う。旅行会社、マスコミ、県などはDMOが対応。

- ・イベント中心の活動が多く、イベント以外に人が来ないことが課題点である
- ・教育面とエンターテインメントを掛け合わせたツアー
- ・時間はあまりかからない方がいい

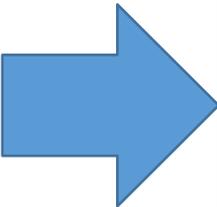
- 
- ・エコツアー実施でイベント以外でも観光客の誘致が可能
  - ・経済循環の面でアドバイスがもらえるのではないか
  - ・短時間で楽しめるエコツアーの提案

### 3.辻村百樹氏(辻村農園山林)

辻村農園・辻村山林代表・神奈川県林業経営者協会会長  
日本林業経営者理事

- ・都会の人たちにも気軽に里山と触れ合えるようにしたい
- ・里山に人が立ち入ることに関してルール・マナー(服装など)を伝えることが大切である。
- ・太陽光パネルなど地産地消エネルギーを作り小田原市内に供給している。

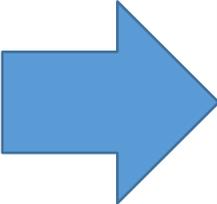


- 
- ・若者が提案する里山ファッションを告知や情報発信に入れる「さとやま女子」
  - ・アクセスの良さを利用して都会の人にもエコツアーに参加してもらう
  - ・自然とエネルギーの循環を伝える要素が多くある

#### 4.渡辺剛治氏（小田原まちづくり応援団）

まちづくり応援団(NPO)市民組織団体が運営する総合計画小田原市総合研究所。まちえん学校など小田原市全体で交流できる場をつくっている。

- ・小田原は文化に対する意識が高い
- ・小田原はお城だけでなく別荘も存在する
- ・清閑亭の運営を行っている
- ・お金をとれるようなガイドを無料で行っている。

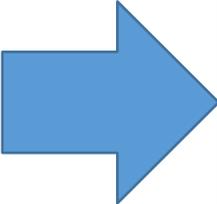
- 
- ・邸園や別荘もエコツアーの資源として活用できるのではないか
  - ・ネットワークや人脈の広さを活用できるのではないか

## 5. 志村成則氏（志村屋米穀店 5代目）

創業明治20年のお米屋さんを経営しつつ、小田原足柄異業種交流会で多種多様な職業の人々が集い小田原地域の発展のための勉強をしている一人。

- ・田んぼアート体験を行っている
- ・米と水は密接に関係する
- ・小田原の魅力はおもしろい人がいること  
（競技鳩を扱う人、自給自足をしている人）
- ・国府津は電車、山、田んぼのセットの景観が良い



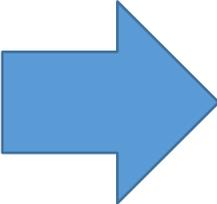
- 
- ・米と水の循環を伝えることができる
  - ・小田原に住む面白い人を訪ね歩くツアーの提案

## 6.古川剛士氏（株式会社古川代表取締役）

市民環境ネットワークの理事、商工会議所の理事、海里川海のタスクフォースの理事、資金循環について詳しい。液化石油ガスの営業、住宅設備機器の販売が主な仕事。環境保全についても積極的に努めている。

- ・商工会、資金循環、エネルギー循環に詳しい
- ・小田原市は生産と消費のバランスが良い
- ・若者からの目線を大切にしてほしい



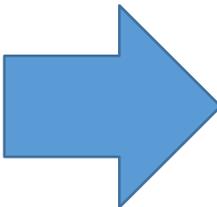
- 
- ・循環をテーマにしたエコツアーの可能性
  - ・商工会という繋がりでも地元企業の方からも協力してもらえるのでは

## 7. 石井智子氏（あしがら農の会）

あしがら地域に様々な循環を作りたいとの思いから、地場、旬、自給を掲げて、1993年に設立された。（2003年にNPO法人化）地域の中の休耕田を借りて自給のためのコメ作りから始まった会は、現在は農産物の宅配や田んぼ、お茶、大豆、味噌、小麦を育て作っている。

- ・フェノロジーカレンダーがあるとありがたい
- ・あしがら農の会では人との繋がりがある
- ・麴作りから味噌作りの体験が可能（場所・天候・人数などの問題はある）
- ・震災の影響で農業に影響が出たが、現在では立て直して新しい循環をつくっている

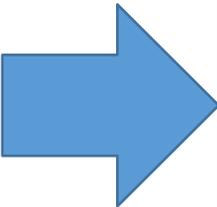


- 
- ・フェノロジーカレンダーは地元の人、観光客双方にプラス面がもたらされる
  - ・エコツアーで小田原の農体験が可能な場合もある
  - ・農業の循環について伝えることができるのではないか

# B.現地調査結果

## 1.清閑亭

福岡出身、30年間貴族院で副議長を務めた黒田長成の別邸だった邸園。  
小田原城三の丸土塁の一角を占め、小田原の町や相模灘を一望する素晴らしい眺めに恵まれている。  
戦前は浅野侯爵家、戦後は第一生命保険相互会社の施設として使われた。  
清閑亭周辺は「天神山」とよばれ、この地には北原白秋や山下家などが別荘、別邸を構えていた。

- 
- ・駅に近いため休憩場可以使用
  - ・海が綺麗に見える
  - ・小田原の歴史も学べる場所

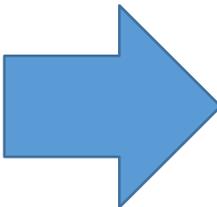


## 2. 街かど博物館

古くから栄えた小田原の産業に関わる人・製品・モノづくりの結びつきを知ってもらうことにより、小田原の魅力を高めようとする施設群。

神奈川県指定銘菓コケッコーを作っている松坂屋や、小田原で有名な梅干を販売しているちん里う本店などの老舗が該当する。



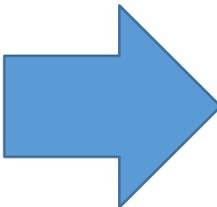
- 
- ・老舗として続いているのは、小田原という地域性と時代にあった商品を提案していることが要因として挙げられる
  - ・一方で現実としては後継者問題を抱えているお店もある
  - ・エコツアーが小田原の伝統を伝えて守るための手段になる

### 3. 小田原城

戦国時代に関東を支配した小田原北条氏の城。豊臣秀吉の襲来に備えて城下を囲み、日本最大の中世城郭を作り上げた。

- ・催し物が期間によって変わるという魅力がある
- ・天守閣からの眺めで4方向に何が見えるかの紹介がされている
- ・日本人はもちろん外国人も見受けられた



- 
- ・小田原城の不動の人気を再認識した
  - ・小田原城+エコツアーが良いのでは

## 4. 小田原地産地消カフェ

### エ mame元café

- ・2017年リニューアルオープンしたばかり
- ・あしがら農の会 の方の野菜を使用
- ・志村米穀店のお米を使用
- ・飲み物も小田原のものを使用
- ・若者も入りやすいおしゃれなカフェ



### Chocolat du Panda

- ・2015年にオープン
- ・地元産梅酒や、小田原産みかんを使用したチョコレート販売

### Nico café

- ・築80年の建具屋さんを改装
- ・小田原の玄米ご飯100%使用
- ・展示会やワークショップも行う
- ・満月の夜は萬月酒場としてお酒を飲んで交流できる場を提供



若者が好きなカフェで地産地消が可能になる

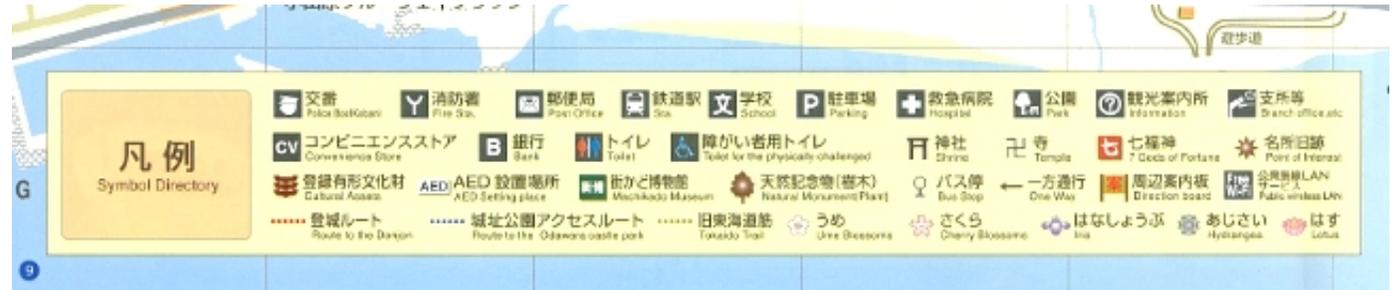
# ヒアリングと現地調査からわかったこと

- ・小田原がもつアクセスの良さは重要
- ・幼少期に自然・文化・歴史を伝える重要性
- ・地産地消に積極的に取り組んでいる人が多い
- ・地元住民の小田原への愛着が強い人が多い

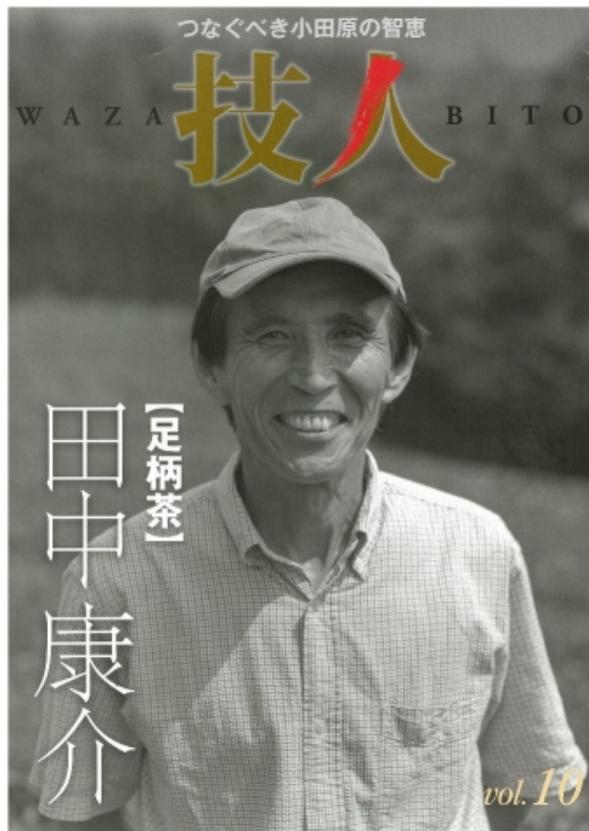
## C.パンフレット分析

- ・小田原城に関するパンフレットが多い
- ・駅前にあるパンフレットに内容の偏り
  - “小田原全体”のパンフレットが多く、細かいところまで目が向けられず有名どころに行きがちになってしまう
- ・小田原・箱根とまとめたパンフレットが多い
- ・あまり知られていない駅周辺のまち歩きマップがあってもいいのでは
- ・街かど博物館のスタンプラリーパンフレットは有効期限がないので良い
  - 1日では回りきれない数なので再来訪につながる

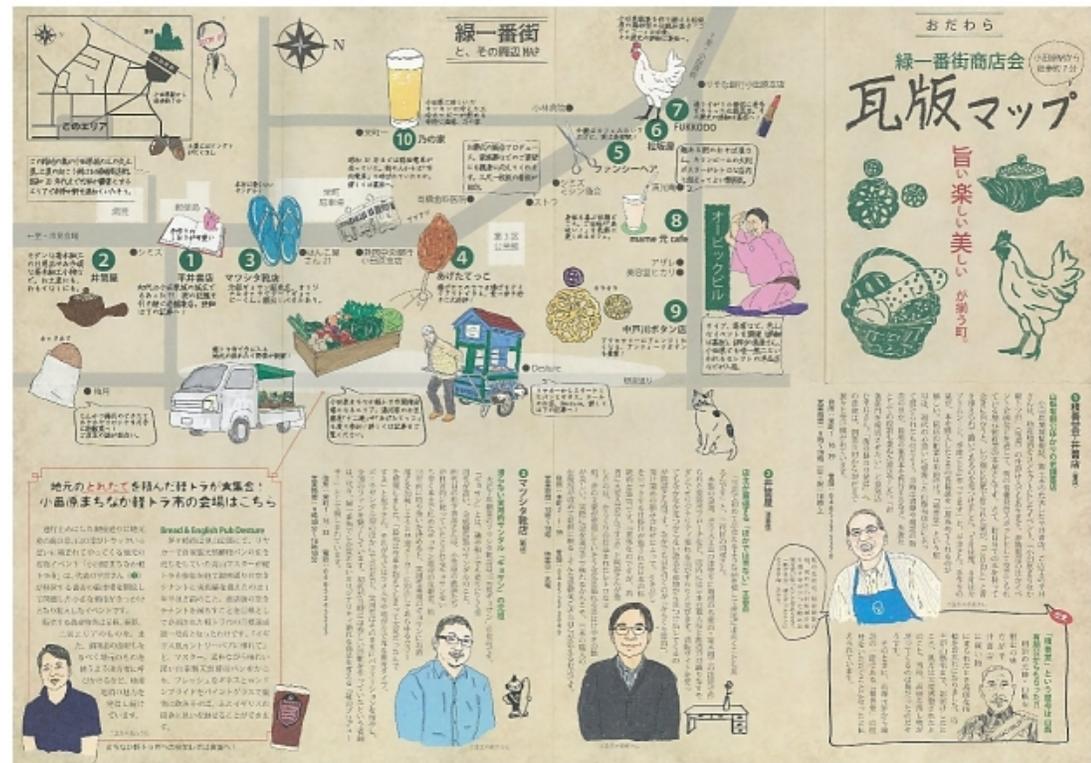
# 障害者用トイレの記号などバリアフリーに考慮したマップ(小田原市観光協会)



# 「人」に密着したパンフレット (技人 地域資源発掘発信事業実行委員会)

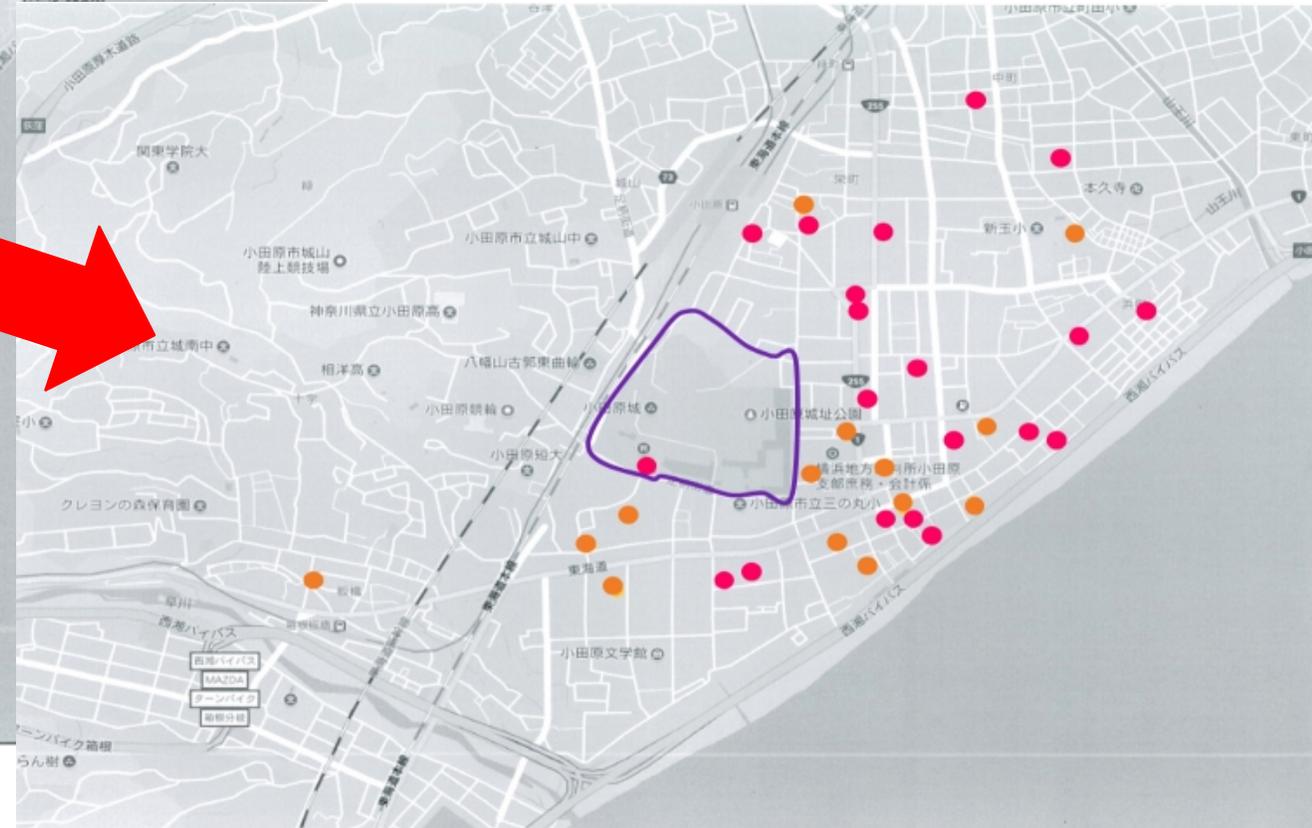
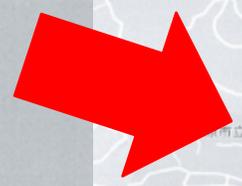
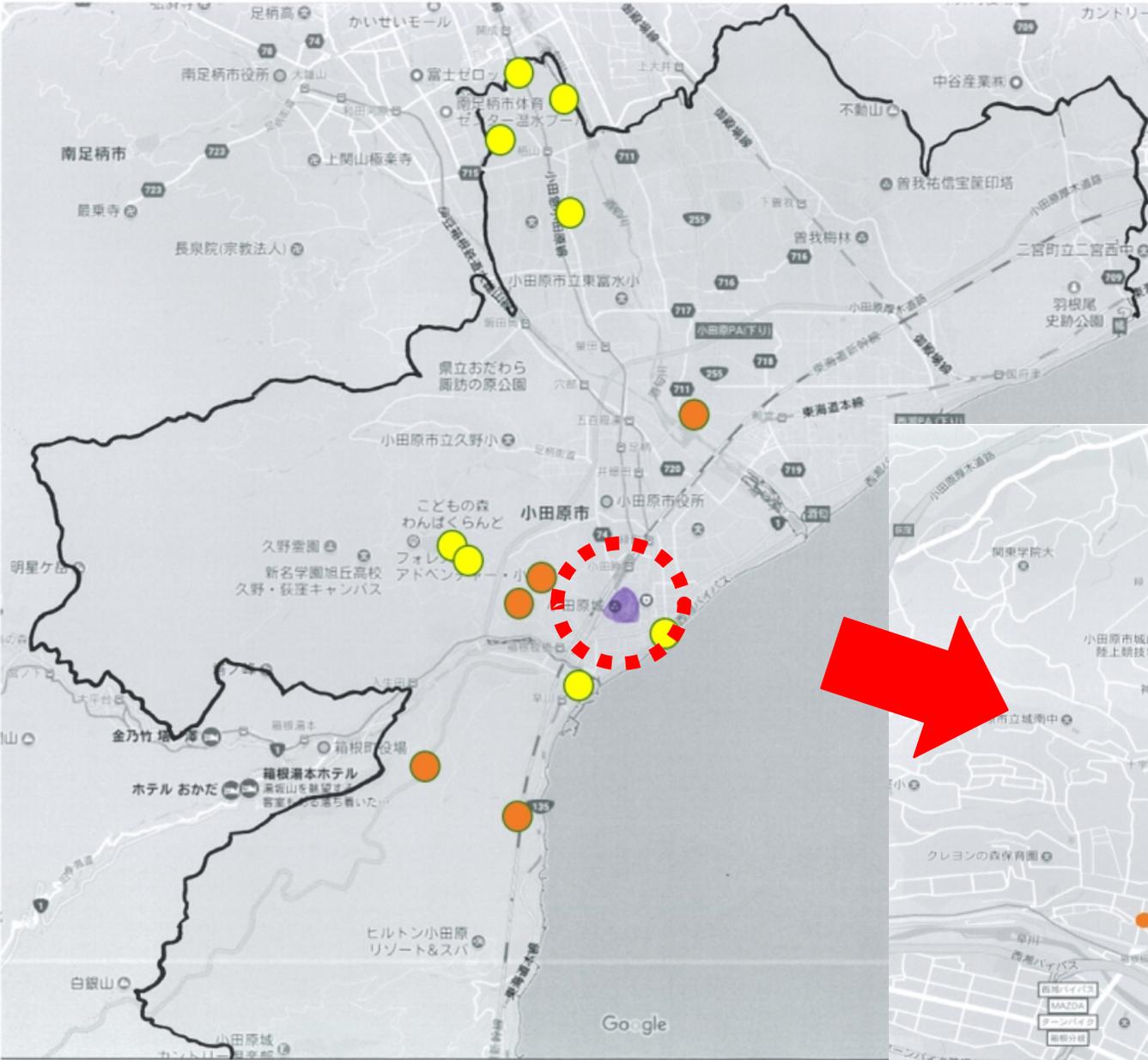


# 持って歩きたくなるマップ・地産地消や歴史に着目・小田原の人の紹介も描かれている (緑一番街商店街瓦版マップ)



# 資源分布図

- ・文化資源 : オレンジ
- ・自然資源 : 黄色
- ・街角博物館+お店 : ピンク
- ・カフェ : 青
- ・小田原城 : 紫



# 資源分布からわかること

- ・小田原城周辺に資源が多い
- ・小田原駅の西側は資源が少ない
- ・自然に触れられる場所が小田原駅から離れている
- ・小田原駅周辺におしゃれなカフェが多数ある

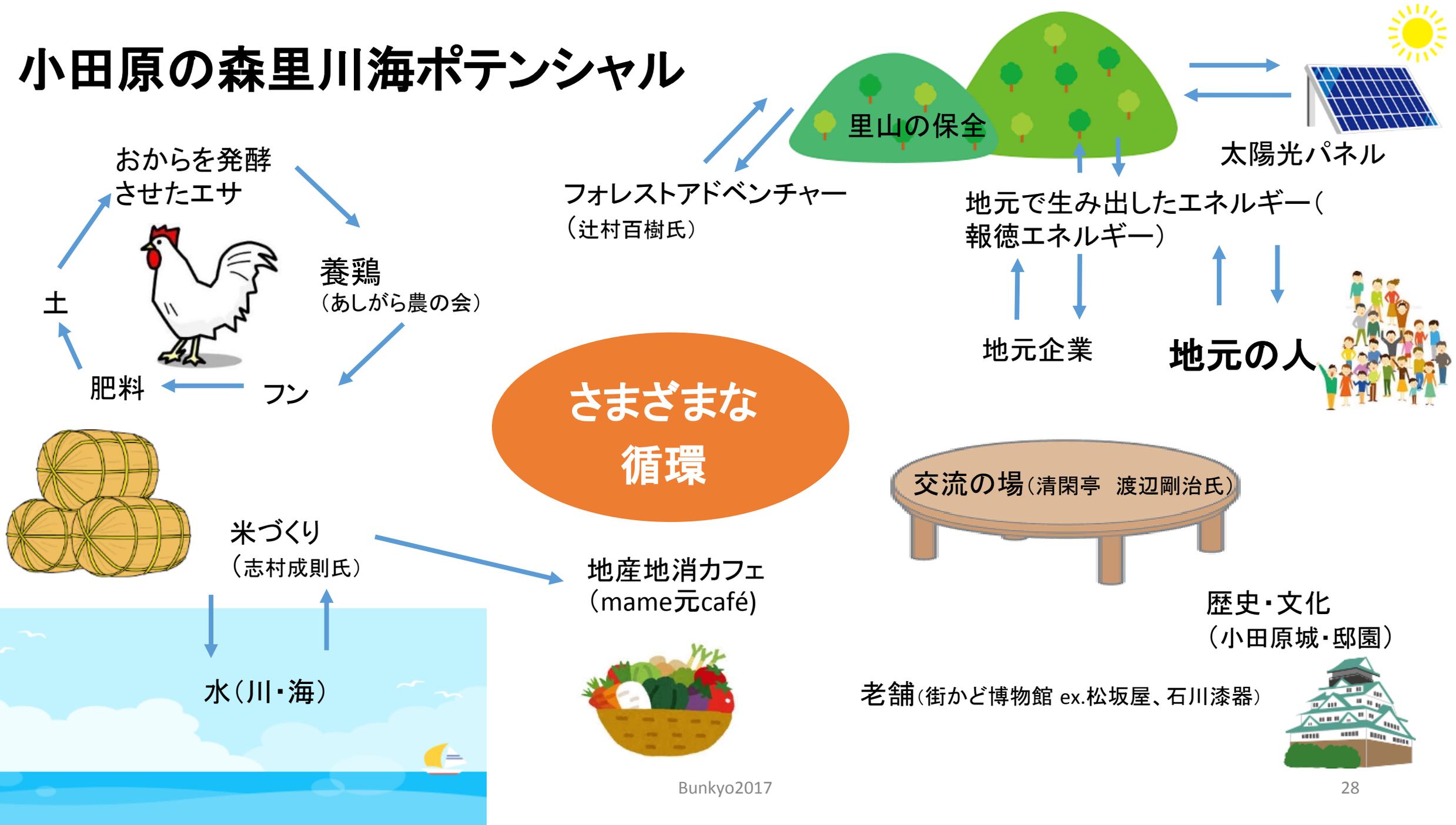


# 調査を通しての感想

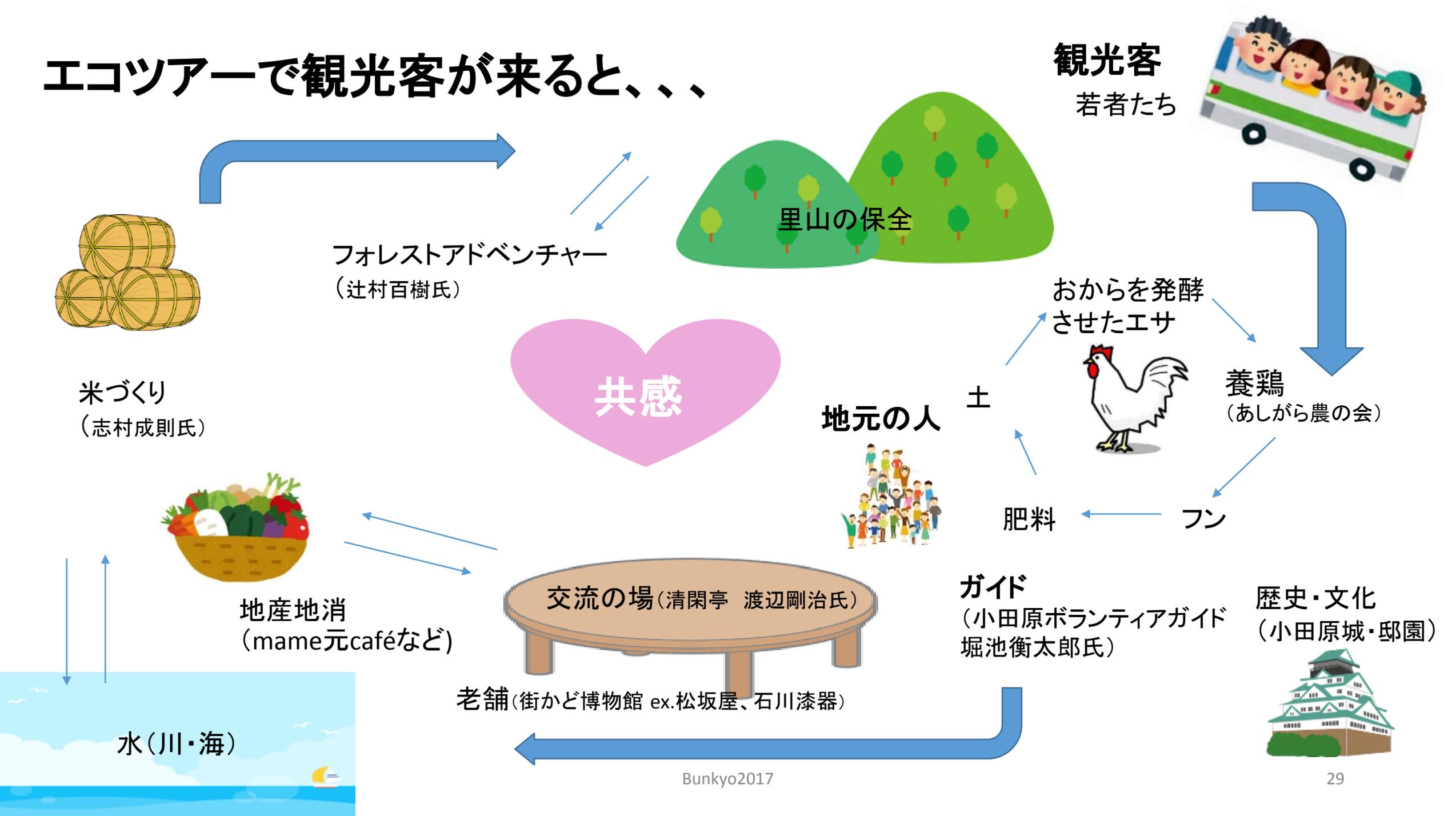
- ・小田原の技人や伝統を活かすことができるのでは  
と思った
- ・小田原の自然資源の多さに驚いた
- ・案内板が少なく、道に迷うことがあった

# 6. 考察

# 小田原の森里川海ポテンシャル

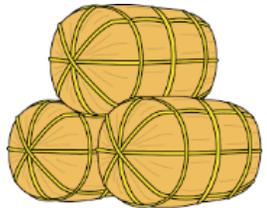


# エコツアーで観光客が来ると、、、



エコツアーで観光客が来ると、、、

観光客  
若者たち



フォレストアドベンチャー  
(辻村百樹氏)



里山の保全

# 若者にライフスタイルの提案

米づ  
(志村)

農の会)

肥料 ← フン



交流の場(清閑亭 渡辺剛治氏)

ガイド  
(小田原ボランティアガイド  
堀池衛太郎氏)

歴史・文化  
(小田原城・邸園)



(name元caféなど)

老舗(街かど博物館 ex.松坂屋、石川漆器)

水(川・海)

# 「循環と共感」

観光客がエコツアーに参加  
小田原の循環を楽しみながら学んで共感してもらおう

- ・小田原の深いところまで好きになってもらう＝小田原ファン
- ・現地の人との交流や共感で繋がりができる
- ・小田原全体の面白い場所の発見ができる



観光客が落とすお金が地域を循環させる



若者に新しいライフスタイルの提案ができる

# 7. 課題点

- ・現地調査の不足

→小田原駅周辺での調査に集中していた為、国府津や早川などの小田原駅から遠い部分で調査が不足している。

また、小田原で開催されている魚市、朝市など地元に着したイベントに参加することができていない。

- ・駅周辺以外(田園風景など景色の良い場所)へのアクセスの悪さ

→交通手段をどうするか

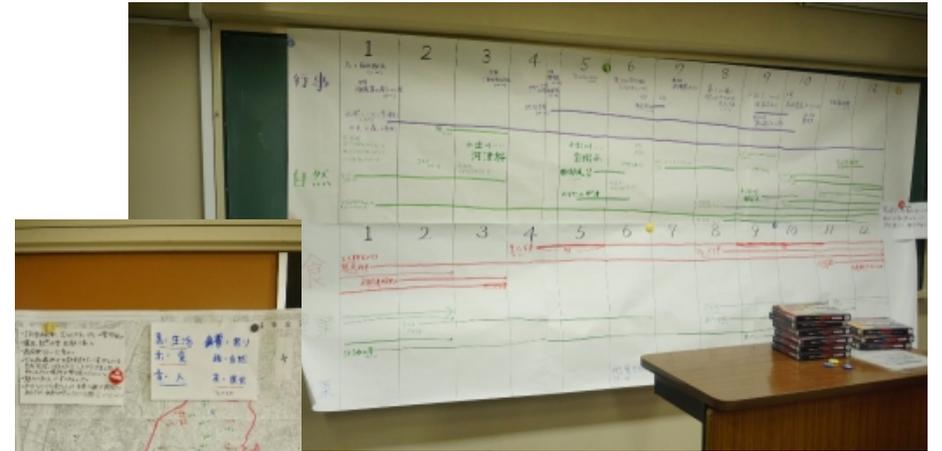
# 8. 今後の計画

今年度

- ・フェノロジーワークショップ  
(1月～2月)

来年度

1. モニターエコツアーの企画
2. モニターエコツアーの実施と評価
3. 小田原市におけるエコツアーリズム展開への提案
4. 観光者ニーズ調査  
(エコツアー企画段階で観光者は何を求めているか反映させるため)



# 参考文献

- パンフレット
  - ・小田原ふるさとの原風景百選
  - ・小田原邸園交流館 清閑亭
  - ・おだわら緑一番街商店会 瓦版マップ
  - ・つなぐべき小田原の知恵 技人
  - ・小田原がいとまっぷ
- あしがら農の会通信

ご清聴ありがとうございました